

11 月 8 日 : 押し目買いで反発

火曜日に指数は上昇して終えた。投資家の押し目買いで直近数日間の下落幅を縮めた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.66% 高の 981.65 ポイントで取引を終えた。直近 4 営業日で 58.56 ポイント下落していた。

午前中には下落トレンドが続き、962.92 ポイントまで下げる場面もあった。

指数は上昇したが、下落トレンドを続ける銘柄が多くある。188 銘柄の下落に対し 149 銘柄が上昇した。

流動性は低いままで、売買代金は 10.3 兆ドン、出来高は 6 億 6,070 万株であった。

銀行、製造業のいくつかの大型株によって、指数は押し上げられた。VN30 指数は 0.74% 高の 980.09 ポイントで取引を終えた。

30 銘柄の内の 23 銘柄が上昇し、7 銘柄が下落した。

BIDV 銀行 (BID) は 4.8% 高で相場を押し上げた。その他、ベトコムバンク (VCB)、ペトロベトナムガス (GAS)、モバイルワールド (MWG) などが相場を牽引。

ベティンバンク (CTG)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、マサングループ (MSN)、サコムバンク (STB) なども上昇した。

一方、不動産、鉄鋼株が相場の重しとなった。ノブランド (NVL) は 7% 安、ファットダット不動産 (PDR)、ホアファット (HPG) も大きく下落した。

ハノイ取引所では、HNX 指数が反発。0.61% 高の 199.77 ポイントで取引を終えた。

外国人投資家は買い越しを続け、ホーチミン市場では 5,237 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。